

町村をむすぶ

MIYAGI 宮城 町村会だより

<http://www.miyagi-ck.gr.jp>

2020
8-9
Vol.498



町村会のうごき

共済事業アレコレ

町村通信 21 ~南三陸町~
ラムサール条約湿地登録と
志津川湾のワイズユースに向けて

サイクルフェスタ丸森

変化に富んだコースを走行しながら、美しい風景、地元の食材を楽しんでいただき、丸森町の魅力をPRします。2019年には7年目を迎えました。東北の小さな町からユニークなイベントを開催することで、町の認知度向上および日本を元気にすることを目的にしています。

例年10月上旬開催。2020年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止決定。

写真・文 提供/丸森町

県主催 市町村長会議

新型コロナウイルス感染症対策に関連した医療問題、
町村への財政支援など佐藤仁会長が要望

8月3日、仙台市（江陽グランドホテル）において県主催の市町村長会議があり、本会を代表して佐藤仁会長（南三陸町長）が発言。新型コロナウイルス感染症対策に関連した医療問題や町村への財政支援について要望しました。



県主催 市町村長会議



佐藤県町村会長（左）、伊藤県市長会長（右）



村井県知事（前列右）

会議は冒頭、新型コロナウイルス感染症対策に関する事項など県の説明があり、その後、意見交換において佐藤会長から2項目を要請しました。（以下、発言要旨）

(1) 地域の自治体病院について、感染症対策による病床の調整、外来患者の減少などで収入は大幅に減少している。自治体病院は住民の最後の砦であり、財政支援を強く国に要請していただきたい。また、「地域医療構想」について、今回の新型コロナウイルス感染症への対応を反面教師とし、あるべき医療の提供体制に向けた議論を国に求めていただきたい。(2) 町村への財政支援について、町村は財政調整基金を取り崩して新型コロナウイルス感染症対策を講じている。税、公共料金の減収が見込まれるなか健全な財政運営に向けた地方財政措置を国に求めていただきたい。また、今年度の国勢調査に係る普通交付税の算定で、特例措置を講じられるよう国に働きかけていただきたい。

市町村職員採用試験

2市19町村2団体の募集に
426名が受験

7月12日、市町村職員採用統一試験を実施。2市19町村2団体の募集に対し、あわせて426名が試験に臨みました。

なお、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、県内各地に試験会場を設けて実施しました。

政務委員会幹事会

県への令和3年度要望事項
を審議

8月20日、県自治会館において政務委員会幹事会を開催。県の令和3年度予算・施策に向けた町村からの要望事項を審議しました。



幹事会は、町村の企画担当課長で構成され、総務建設・産業経済・厚生文教の3部会ごと、それぞれ関係の事項について要望案を取りまとめました。

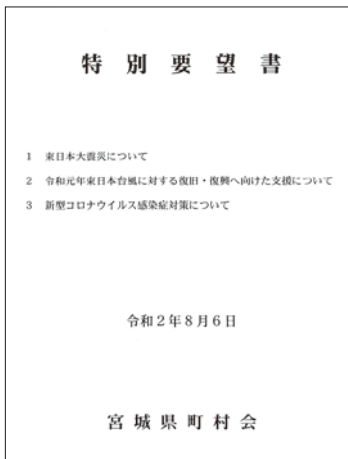
令和3年度政府予算編成並びに施策に関する要望

町村の課題を 国の政策に

8月6日、町村長会議で決定された新型コロナウイルス感染症対策など「特別要望」3項目と令和3年度予算・施策要望24項目について、自由民主党本部、復興庁ほか関係省庁に要望したほか、宮城県関係の国会議員に対し要望の実現に向けた支援について要請しました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面の郵送により要請しました。

要望事項*全文を本会ホームページに掲載



旧・復興へ向けた支援について
▼新型コロナウイルス感染症対策について1医療対策について2経済対策について3教育・子育て支援について4生活困窮者への支援について5地方自治体への支援について



1 町村財政基盤の強化について 2 過疎対策及び地方創生の推進につ

いて3総合防災対策事業の整備促進について4情報化施策の強化推進について5陸上自衛隊演習場周辺対策事業の促進について6拉致事件に関する特定失踪者の真相究明について7再生可能エネルギーによる地域振興推進について8道路・河川等・ダム及び生活環境等の整備について9公共交通網の充実強化について10農業対策の充実強化について11森林・林業対策の推進について12水産業対策の充実について13産業振興対策の推進について14広域観光の充実に向けての支援について15障害者保健福祉施策の充実強化について16国民健康保険制度の抜本的改革について17後期高齢者医療制度について18介護保険制度の改革について19子育て支援対策の推進について20地域保健医療対策の推進について21ワーク・ライフ・バランスの推進について22生活保護に係る級地区分の見直しについて23学校教育の充実に対する財政措置等について24特別名勝「松島」保護指定区域の見直しについて

令和2年度梅雨前線豪雨等の災害に支援

8月3日、正副会長会議を開催。今年7月、日本各地を襲った豪雨災害への支援について協議し、多くの被害を出した山形、大分両県の町村会に対し見舞金を送ることを決めました。

町村会日誌

7月

- ▼2日 全国町村会理事会、都道府県町村会会長(全国町村会館)佐藤会長出席
- ▼12日 市町村職員採用統一試験
- ▼14日 宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合 監査(県自治会館)

8月

- ▼3日 正副会長会議(仙台市 江陽グランドホテル)
- ▼3日 県主催 市町村長会議(仙台市 江陽グランドホテル)
- ▼20日 政務委員会幹事会(県自治会館)
- ▼27日 宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合 議会(県自治会館)





ラムサール条約湿地「志津川湾」の海の森



子ども達が描いた町の宝とメッセージ



南三陸少年少女自然調査隊の活動

三陸沿岸では、暖流と寒流がバランスよく混ざり合う独特な自然環境を背景に、生物多様性を支えるバラエティー豊かな「海の森」を見ることができません。そのなかにある南三陸町沿岸域の自然環境が、世界的に貴重であると認められ、2018年10月に「志津川湾」としてラムサール条約湿地に登録されました。

ラムサール条約は、湿地の保全・再生と賢明な利用(ワイズユース)を目的とし、それに向けた交流・学習を進めることを重視しています。2019年2月の登録記念イベントでは、日本全国のラムサール条約湿地で活動する子どもたちが一同に集う環境教育プログラムとして、このイベントをきっかけに、継続して南三陸町の自然に親しみ伝えることを目的とした子どもたちの団体「南三陸少年少女自然調査隊」が、子どもたち自身の要望で結成されました。復旧工事が続き、自然と触れ合う機会が減少する中で、地域の宝である自然と向き合う取組が求められています。地元との自然の美しさと豊かさに直に触れ、共有することが、誇りあるまちづくりと南三陸町の真の復興につながるかと期待しています。

ラムサール条約湿地登録と志津川湾のワイズユースに向けて

町村会の予定

9月

- 9月10日 全国町村会政務調査会、理事会
- 9月20日 市町村職員採用統一試験
- 9月25日 災害共済事業加入推進会議①
- 9月29日 政務委員会
- 9月30日 行政課題研修①

10月

- 10月2日 災害共済事業加入推進会議②
- 10月6日 町村長会議
- 10月9日 行政課題研修②
- 10月13日 各種団体の負担金適正化会議
- 10月14日 北海道東北六県町村会会長会議
- 10月16日 全国町村会政務調査会、理事会
- 10月18日 市町村職員採用統一試験

*新型コロナウイルス感染予防のため、日程が変更になることがあります。

共済事業アレコレ

任意共済保険について

10月から任意共済保険の更新手続きが始まるのに合わせ、新規加入申込が始まりますので、改めて制度をご紹介します。任意共済保険は、下記の3つの保険で構成されています。

1. 任意生命保険

町村等職員の死亡・高度障がいを保障するもので、保険金額は職員の方の場合200万円から3,000万円の範囲で任意に設定できます。

2. 任意医療保険

町村等職員のケガや病気等での入院・手術等を保障するもので、入院給付金日額は職員の方の場合5,000円から12,000円の範囲で任意に設定できます。

※任意生命保険及び任意医療保険は、配偶者・子どももご加入いただけます。また、退職後も引き続きご加入いただける制度もございます。

3. 任意収入補償保険

町村等職員のケガや病気により、長期間働けなくなった場合に備える保険で、保険金は月額1口5万円から5口までの範囲で任意に設定できます。

詳しくは10月以降にお配りするパンフレットをご覧ください。下記までご連絡ください。

宮城県町村会事業推進課 022-221-9203